

血管検査室基準について下記の項目に従い、項目について回答して下さい。

「無駄な透視をしない」を啓発し続けている。	はい、いいえ
低レートパルス透視（低線量透視）を必要に応じて使い分けている。	はい、いいえ
必要最小限の撮影レート，撮影フレーム数を実践している。	はい、いいえ
軟線除去フィルタをX線管に付加している。	はい、いいえ
透視線量，撮影線量を適切に調整している。	はい、いいえ
焦点皮膚間距離をできるだけ離すように実践している。	はい、いいえ
1.1. およびFPDを皮膚面に，できるだけ近づけるよう実践している。	はい、いいえ
照射野を必要最小限に絞ることを実践している。	はい、いいえ
過度のインチアップを避けることを実践している。	はい、いいえ
線量又は透視時間の記録をしている。	はい、いいえ
2Gyを超えたと思われた時の対処方法が検討されており，適切にアドバイスできるように心がけている。IVR時の患者被曝線量を何らかの形で計測・推測しカルテ等に記載する等。	はい、いいえ
継続した装置管理を実践している（施設で日常のQC,QAを実践している）。	はい、いいえ
目的に応じたプロトコール作成をし，それを実践している。	はい、いいえ
スタッフの教育・訓練を定期的に行っている。	はい、いいえ

各項目の詳細については，全循研の「被曝低減技術セミナーテキスト」を参考にさせていただきたい。このようなことを毎日継続的に実行し，意識しなくても自然に行動できるよう取り組むことが重要である。

全部で16項目あり「10項目以上で認定基準を満たす」としたい。

太字は必須条件とする。

なお、全循研もしくは推進母体主催「循環器被曝低減技術セミナー」受講者（5年以内）が担当していること。認定期間は5年間とし、5年ごとに認定基準に合致していれば更新する。